

会 報

東北大学教育学部
同窓会東北支部



東北大学教育学部同窓会との統合

東北大学教育学部同窓会東北支部長 鹿 野 毅 (昭和39年入学)

この度、東北大学教育学部同窓会東北支部は、東北大学教育学部同窓会と、統合することに致しました。

支部会員の皆様におかれましては、唐突なお話で、さぞや驚かれ、不可解な思いを抱かれたことと思います。

ここに至る経緯につきましては、逐一ご報告できませんでしたこと、幾重にもお詫びいたします。

統合の理由につきましては、役員辞退者の補充不能、それに伴い事務の事務局集中（局員は一人）役員会出席者の減少、会費納入減少等で、支部運営が困難になってきたからです。これ等は、会員の高齢化に伴い、年々重く申し掛かってきておりましたが、コロナ禍で一気に表面化した感があります。

そこで今後の支部のあり方について「検討委員会」を設置し、役員の皆様のご意見をいただきながら検討を重ね、前述の結論に達し、臨時役員会で承認いただきました。

その間教育学部とも協議を重ねてまいりました。私達は、卒業時教育学部同窓会員になっておりますがその活動については、皆様ご承知の通りです。しかし、社会情勢の変化を受け、同窓会活動を活発化させる準備が進んでいることにとのことです。

統合後は、支部推薦の理事を増やし、総会開催・広報紙編集等に、東北支部で培った知恵を生かした運営をしてくださるとのことでした。

また、会員の皆様からお寄せいただきました。協力金・基金につきましては、その趣意に基づいた使い方をさせていただきよう、協議してまいります。

仙台支部結成来40有余年、趣意を遂げ、隆盛を極めてきた先輩諸兄の活動を思うとき、敬意・感謝と共に申し訳ない思い出で一杯です。

結びになりますが、支部会員の皆様には、今後ともご壮健で、ご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

また、東北大学教育学部同窓会が充実し、学部全体が盛り上がり近隣の教育界に好影響を及ぼされんことを祈念いたします。

【総会案内】

東北大学教育学部同窓会への統合にあたり、東北支部第6回(仙台支部第42回)総会を下記の日程で開催いたします。

新型コロナの終息を祈りながら、記念講演会も合わせて開催いたします。多くの会員の皆様のご出席をお待ちしています。

なお、コロナ感染が高止まりの状況ですので、飲食を伴う懇親会はできませんが、講演会終了後、懇談の時間を設けたいと考えています。

記

総 会 令和5年3月26日(日)午後1時から
講演会 講師 野口和人研究科長
演 題 「東北大学教育学部のこれまでとこれから」
会 場 東北大学文系総合研究棟12階大会議室
受 付 午後 0時15分から



東北大学創設115周年・総合大学100周年に寄せて ～教育学部・教育学研究科のこれまでとこれから～

教育学研究科・教育学部長 野口和人

長きにわたり、教育学部・教育学研究科の教育・研究活動にご支援・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

今年度、東北大学は創立115周年・総合大学100周年の節目を迎えています。ご存知のとおり教育学部が独立した部局として誕生したのは1949年ですから100年にはまだまだ及ばないのですが、法文学部の授業が開始されたのが創立翌年の1923年で、その年には法文学部内に教育学講座が設置されておりますので、教育学部のルーツは法文学部の創設に求めることができるかと思えます。教育学部・教育学研究科としては、この節目を機に、卒業生・修了生の皆様との繋がりをいっそう強固なものとしようと、卒業生・修了生の皆様と在学生在が集い語り合う交流会を、この10月に初めて企画・実施いたしました。幸い大変好評をいただき、次年度以降も様々な企画を行ってきたいと考えています。

さて、教育学部・教育学研究科は、その萌芽の時期から少しずつ姿を変え、現在に至っています。私自身も教育学部・教育学研究科の出身ですが、私が在籍した時とはだいぶ姿が変わっています。近年では2018年に、以前に教育学部・教育学研究科から分かれる形で創設された教育情報学研究部・教育部と再統合する形で教育学研究科を再編し、教員組織として教育学講座、教育心理学講座、教育情報アセスメント高座の3つを設置しました。これにより、一つの文系部局内において文理融合型の学修・研究環境を整えることができました。またその際に、大学院にグローバル共生教育論コースを設置するなど、国際的な学修・研究を整えることにも力を注いできました。なお、今年度、上記コース内に英語のみで博士号の学位の取得を可能とする国際学位コースを設置し、来年度10月初めに初めての学生を受け入れる予定とな

っています。

また、2020年3月にはUNESCOバンコク事務所と学術交流協定を結び、以降、教育学研究科が主催する国際ウェビナーなどの研究活動や、教育学部・教育学研究科の教育活動にご協力いただけてまいりました。今年度は、教育学研究科として初めての国際機関におけるインターシップとして、1名の学生をUNESCOバンコク事務所におけるインターシップに送り出すことができました。つい先日行われた国際ウェビナーの際に来仙いただいたUNESCOバンコク事務所の教育改革・スキル開発部門の部門長からは、他の大学が書面上の学術交流協定にとどまっていることが多いなか、東北大学教育学研究科は実質的な交流が実現できており、高く評価しているとお言葉をいただきました。

以上のように、教育学部・教育学研究科は新たな可能性の拡大に向け、たゆまぬ追求を続けています。引き続き、ご支援・ご協力を賜れば大変有り難く存じます。どうぞよろしく願いいたします。



令和3年度 東北支部事業報告

顧問会・監査会 3月27日 顧問会(書面) 監査会 監事と郵送で対応 (コロナの影響で8月に実施) 第1回支部役員会(書面)	協議事項 ①役員補充について ②令和3年度第5回総会時講師について ③その他	
第2回支部役員会(書面)	協議事項 ①令和2年度東北支部事業報告・会計決算報告 ②令和3年度東北支部事業計画・支部会計予算案 ③令和3年度第5回総会時講師について ④令和3年度第5回総会について ⑤「会報25号」発行について ⑥役員改選(事務局・年度理事改選)について ⑦東北支部での会員増について ⑧その他 令和3年度東北支部第5回(仙台支部第5回)総会について ①講演会講師・演題の確認 ②総会・講演会・懇親会における理事の役割分担 ③第3回支部役員会の日時と会費について ④その他(各委員会から)	報告事項 ①令和2年度東北支部事業報告・会計決算報告の承認 ②令和3年度東北支部事業計画・支部会計予算案の承認 ③令和3年度第5回総会時講師について ④令和3年度第5回総会について ⑤「会報25号」発行について ⑥役員改選(事務局・年度理事改選)について ⑦東北支部での会員増について ⑧その他 令和3年度東北支部第5回(仙台支部第5回)総会について ①講演会講師・演題の確認 ②総会・講演会・懇親会における理事の役割分担 ③第3回支部役員会の日時と会費について ④その他(各委員会から)
教育学部同窓会東北支部 第5回(仙台支部第42回)総会 (コロナの影響で書面開催)	協議事項 ①令和2年度事業報告・会計決算報告・監査報告の承認 ②令和3年度事業計画・会計予算案の承認 ③令和3年度事業中間計画・会計中間報告について	報告事項 ①令和2年度事業報告・会計決算報告・監査報告の承認 ②令和3年度事業計画・会計予算案の承認 ③令和3年度事業中間計画・会計中間報告について
記念講演会(中止) 懇親会(中止)	講演会・懇親会 コロナの影響で中止	
第3回東北支部役員会 令和4年1月15日(土) 会場 東北大学文系総合 研究棟306教室 午前10時～	協議事項 ①東北支部第5回(仙台支部第42回)総会の反省事項 ②令和4年度東北支部事業計画・会計予算案について ③役員会・総会の持ち方について ④東北支部第6回(仙台支部第43回)総会日時の確認	報告事項 ①東北支部第5回(仙台支部第42回)総会報告 ②令和3年度東北支部事業・会計中間報告
顧問会(書面) 監査会 令和4年5月28日	協議事項 ①役員補充について ②令和4年度総会時講師について ③その他 監査事項 令和3年度会計監査	

令和3年度 東北大学教育学部同窓会東北支部会計決算報告

令和4年3月31日

I 一般会計

1. 収入の部

(△ 予算との比較減B-A 単位:円)

項 目	今年度予算額A	今年度決算額B	比 較	備 考
会 費	240,000	218,000	△ 22,000	会費218名分
繰 越 金	180,131	180,131	0	前年度繰越金
雑 収 入	9	5	△ 4	利子
合 計	420,140	398,136	△ 22,004	

2. 支出の部

(△ 予算との比較減B-A 単位:円)

項 目	今年度予算額A	今年度決算額B	比 較	備 考
事 務 局 費	220,000	154,961	△ 65,039	
①印刷費	75,000	52,100	△ 22,900	印刷、コピー代等
②消耗品費	15,000	8,511	△ 6,489	用紙、インク代等
③事務手当	35,000	25,000	△ 10,000	事務手当
④通信連絡費	90,000	69,350	△ 20,650	総会、役員会案内
⑤雑費	5,000	0	△ 5,000	
手 数 料	3,000	0	△ 3,000	手数料他
会 議 費	30,000	18,226	△ 11,774	役員会等
会 報 費	80,000	55,055	△ 24,945	
①印刷費	70,000	55,055	△ 14,945	会報印刷代
②通信連絡費	10,000	0	△ 10,000	会報担当通信費等
総 会 費	35,000	0	△ 35,000	
①会場費	0	0	0	
②表示関係費	5,000	0	△ 5,000	表示作成費
③講演会費	30,000	0	△ 30,000	講師謝礼
慶 弔 費	10,000	0	△ 10,000	弔電等
雑 費	10,000	0	△ 10,000	
予 備 費	32,140	0	△ 32,140	旅費、卒業祝賀会費等
運 用 基 金	0	0	0	
合 計	420,140	228,242	△ 191,898	

3. 残 高 398,136円 - 228,242円 = 169,898円



II 運用基金 前年度繰越金900,000円 + 収入0円 = 差引残高900,000円(ゆうちょ銀行、定期積み立て)

III 協力金 令和元年度337,110円 令和2年度261,401円

令和3年度191,500円 計790,011円(ゆうちょ銀行 普通預金)

会 計 監 査 報 告

令和3年度東北大学教育学部同窓会東北支部の会計決算にあたり、通帳・会計出納簿・領収証を点検したところ適正に処理されていたことを報告いたします。

監事 中川 典雄 
 監事 松本 大 

令和4年度 東北支部事業計画

顧問会・監査会
 3月25日(土) 顧問会
 監査会
 第1回支部役員会
 期日 5月13日(土)
 時刻 午後1時30分～
 会場 東北大学文系総合
 研究棟306教室

第2回支部役員会
 期日 8月19日(土)
 時刻 午後1時30分～
 会場 東北大学文系総合
 研究棟306教室

教育学部同窓会東北支部
 第6回(仙台支部第43回)総会
 期日 11月18日(土)
 時刻 午後1時～
 記念講演会(総会終了後)
 懇親会(講演会終了後)
 第3回支部役員会
 令和5年1月13日(土)
 会場 東北大学文系総合
 研究棟306教室

時刻 午前10時～
 顧問会
 令和5年3月30日(土)
 監査会(教室)
 令和5年3月30日(土)

協議事項 ①役員補充について
 ②令和4年度第6回総会時講師について
 ③その他

報告事項 ①令和3年度東北支部事業報告・会計決算報告
 協議事項 ①令和3年度東北支部事業報告・会計決算報告の承認
 ②令和4年度東北支部事業計画・支部会計予算案
 ③令和4年度第6回総会時講師について ④令和4年度第6回総会について ⑤「会報26号」発行について ⑥役員改選(事務局・年度理事改選)について ⑦東北支部での会員増について ⑧その他

協議事項 令和4年度東北支部第6回(仙台支部第42回)総会について
 ①講演会講師・演題の確認
 ②総会・講演会・懇親会における理事の役割分担について
 ③第3回支部役員会の日時と会費について
 ④その他(各委員会から)

報告事項 令和3年度事業報告・会計決算報告・監査報告
 協議事項 ①令和3年度事業報告・会計決算報告・監査報告の承認
 ②令和4年度事業計画・会計予算案の承認
 ③令和4年度事業中間報告・会計中間報告について

講演会 講師 先生 演題「
 懇親会 会費5000円 学生は2000円 仕出し等学生協に委託
 報告事項 ①東北支部第6回(仙台支部第43回)総会報告
 ②令和4年度事業中間報告・会計中間報告

協議事項 ①東北支部第6回(仙台支部第43回)総会の反省事項 ②令和5年度東北
 支部事業計画・会計予算案について ③役員会・総会の持ち方について
 ④東北支部第7回(仙台支部第44回)総会日時の確認

協議事項 ①役員補充について
 ②令和3年度第6回総会時講師について ③その他

監査事項 令和4年度会計監査

令和4年度 東北大学教育学部同窓会東北支部会計予算案

令和4年4月1日

I 一般会計

1. 収入の部

(△ 予算との比較減B-A 単位:円)

項 目	前年度予算額A	今年度予算額B	比 較	備 考
会 費	240,000	230,000	△ 10,000	会費230名分
繰 越 金	180,131	169,894	△ 10,237	前年度繰越金
雑 収 入	9	6	△ 3	利子他
合 計	420,140	399,900	△ 20,240	

2. 支出の部

(△ 予算との比較減B-A 単位:円)

項 目	前年度予算額A	今年度予算額B	比 較	備 考
事 務 局 費	220,000	185,000	△ 35,000	
①印刷費	75,000	70,000	△ 5,000	印刷、コピー代等
②消耗品費	15,000	10,000	△ 5,000	用紙、インク代等
③事務手当	35,000	25,000	△ 10,000	事務手当
④通信連絡費	90,000	75,000	△ 15,000	総会、役員会案内
⑤雑費	5,000	5,000	0	
手 数 料	3,000	3,000	0	手数料他
会 議 費	30,000	30,000	0	役員会等
会 報 費	80,000	80,000	0	
①印刷費	70,000	70,000	0	
②通信連絡費	10,000	10,000	0	会報担当通信費等
総 会 費	35,000	35,000	0	
①会場費	0	0	0	会場使用料
②表示関係費	5,000	5,000	0	表示作成費
③講演会費	30,000	30,000	0	講師謝礼
慶 弔 費	10,000	10,000	0	弔電等
雑 費	10,000	10,000	0	
予 備 費	32,140	46,900	14,760	旅費、卒業祝賀会費等
運 用 基 金	0	0	0	
合 計	420,140	399,900	△ 20,240	

II 運用基金 900,000円(ゆうちょ銀行、定期積み立て)

III 協力金 790,011円(ゆうちょ銀行、普通預金)

※ 令和4年度の事業報告・決算報告・監査報告は総会で報告します。

「同窓会活動に参加を」

検討委員会委員長 中川 典雄

1 検討会経過要約

東北支部で「同窓会の今後について」検討課題となったのは、令和4年1月15日開催の令和3年度第3回役員会でした。「役員会への役員の出席率が悪い」「年会費の未納会員が増加し、未納会員を含む会員への会報送付が続き、財政負担が生じている」ことが主因です。令和4年5月15日開催の役員会で「検討委員会」設置を決め、令和4年6月18日第1回を開き、委員長の私を含め7名で、10月8日まで5回開催した。その間に「東北支部を学部同窓会へ統合すべきだ」の意見が強まり検討委員会だけで決するには大きな問題として9月3日「第2回役員会」招集し、全役員からの意見を伺い、「学部同窓会に統合する」同意がえられた。

これを基礎に「学部同窓会に統合する内容」をまとめる検討委員会を10月8日開催、11月26日臨時役員会で「統合する際の支部積立金、要望意見」をまとめ、同意を得、「検討委員会」を「統合推進委員会」にして統合時、統合後の内容を検討することにした。その内容を全会員に総会で提案するものです。

2 検討委員会に臨んで

東北支部を学部同窓会に統合する重要案件のために2回役員会を開催したが、出席者は少なかった。今回に限らず、支部長、事務局長の負担は大きい。

同様に活動中の関東支部があるだけに、東北支部を無くしたくない気持ちです。しかし、問題は多く、教育学部同窓会に統合することが最善の策です。

3 「もう年ですが」

「寄る年に勝てず、ここまで」が大半だが、普通の同窓会活動のために「もう年ですが、少し活動するか」と挑戦力も必要です。過去のことも大切ですが、現在や将来の生活について情報交換する同窓会も重要です。

10月に教育学部主催の「学部交流会」も今後の同窓会のひとつの道と感じた。

学部に統合した同窓会に参加を期待しています。

事務局長雑感

事務局長 軍司 啓

先任の關口隆事務局長から引き継いだ経緯は、支部長だった方が事務局長をしている状況打破のためでした。つまりその当時から役員の補充が困難な状況でした。関東支部と違い、教員中心の会員・仙台市内の学校に勤務した会員中心という会員構成でした。

そして、東北大学教育学部教員養成課程が昭和39年度入学生で終了のため会員予備軍が大幅減少という状況でした。

また、その後は教育学部卒業生の大半が教員以外の職に就き、宮城を始めとする東北各県に残ることが稀な状況でした。そのため現時点で40年度入学以降の会費納入してくれる会員がわずか12名という事態に至っています。

關口隆支部長以降の各支部長さんは会員増をはかるため、いろいろな手を打ってきました。

会員の範囲を仙台市だけでなく宮城県に、さらに新潟を含む東北6県へと会員増を図るために支部名も仙台支部から東北支部へと改称し努めてきました。

しかし、話題とはなっても各ピーク・各教科別の集まりがあることを認識しても縦の繋がりへの働きかけは進まず、年度別の横のつながりが中心でした。

それと高齢化が進み、年度別の集まりも減り年度理事の補充もままなくなり。支部長さえ後任を選出も難しくなりましたので、早くから本部同窓会への統合の話題を出しても東北支部も本部同窓会も全く無関心でした。

ところが大学を取り巻く情勢が大きく変化し、自己資金を確保しなければならなくなり同窓会活動を通して確保の一手段としなければならなくなったと思われまます。

欧米の多くの大学は自己資金を確保して運営に役立っているのに、日本の国立大学は国に頼り切っていたつけが表面化しただけだと思います。本部同窓会が同窓会らしい活動をし多くの理解者を確保していただきたい。

教育学部同窓会本部に統合を決めた詳細
(令和3年度の会議内容と決定事項及び出席者等)

I. 令和3年度第1回役員会(5月15日)

- (1) 出席者
野口研究科長 後藤理事 岡崎顧問
阿部顧問 関口顧問 鹿野支部長
光井副支部長 軍司事務局長
桂島理事 中川理事 朴澤会計副委員
- (2) 会議内容
① 令和3年度東北支部事業報告・会計報告
② 令和4年度東北支部事業計画案・予算案
③ 東北支部の今後について
④ 令和4年度東北支部総会について
⑤ 令和4年度東北支部総会時講演会
懇親会について

- (3) 決定事項
① について承認
② について決定
③ については多くの課題があるので役員会で話し合うための原案を検討する委員会を設置することにし、委員会名と委員を決定
「検討委員会」
委員長 中川典雄委員長
委員 関口隆顧問 後藤武俊理事 鹿野毅支部長
光井正副支部長 朴澤徳昭会計副委員長
軍司啓事務局長

II. 第1回検討委員会(6月18日)

- (1) 出席者
中川典雄委員長 関口隆顧問
鹿野毅支部長 光井正副支部長
後藤武俊理事 朴澤徳昭会計副委員長
軍司啓事務局長
- (2) 会議内容
① 会費未納者への対応と会員数の確認
② 東北支部の今後と会員増への取り組み
③ 各委員会活動状況

- (3) 決定事項
①・② について話し合うための資料が必要であるため、ここ数年の会費納入者名簿が必要・役員会への出席者数・会報発送数の状況の確認資料必要
③ については会報に事務局の意向が反映されていないので、事務局が担当すべき・名簿作成委員会・会則検討委員会の活動が見えないので廃止を検討
本部同窓会への統合等の意見有継続して検討

III. 第2回検討委員会(7月16日)

- (1) 出席者
中川典雄委員長 関口隆顧問
鹿野毅支部長 光井正副支部長
後藤武俊理事 朴澤徳昭会計副委員長
軍司啓事務局長
- (2) 会議内容
① 会報について
② 会報に同封するもの
③ 会報の内容
④ 4委員会について

- (3) 決定事項
① については、発送人数と会費納入者に開きがあるので継続して検討
② については例年同封しているものを
③ については事務局が担当することを前提として検討していくが、支部長挨拶や研究科長挨拶入れる。その他は例年に準ずる。
④ については、組織の簡素化を前提として事務事務局に統合し担当制とする。
会報発行委員会以外の必要性を検討する

IV. 第3回検討委員会(8月10日)

- (1) 出席者
中川典雄委員長 関口隆顧問
鹿野毅支部長 光井正副支部長
後藤武俊理事 軍司啓事務局長
- (2) 会議内容
① 東北支部の今後
② 支部の会計関係
③ その他

- (3) 決定事項
① については統合廃止を含めて役員の方々の意見を確認して決める
② については明確な方向が決まらなないと対応できない。
③ について、検討課題が多いし、かつ重要課題決まっていないので役員会・総会が予定通り開催は難しい。(8月開催予定の役員会は9月3日にしたい。)

V. 第2回役員会(9月3日)

- (1) 出席者
野口和人研究科長 後藤武俊理事 永野昌一顧問 阿部琢也顧問 関口隆顧問 鹿野毅支部長
光井正副支部長 坂野優子会計委員長 鈴木きよ子会計副委員長 中川典雄監事 桂島新一理事
軍司啓事務局長
- (2) 会議内容
① 検討委員会の報告
② 返信のあった方々のご意見について
※①②を合わせて協議したい。
- (3) 決定事項
①② について合わせて協議するにあたって参考にしたご意見(・本部に統合する 13
・継続する 6名 ・解散する 6名

- ③ ①②を踏まえて総会・会報について
- ④ 東北支部の今後について
- ⑤ 令和4年度東北支部総会時講演会・懇親会
- ⑥ 4委員会から
- ⑦ については、本部への統合を決めた。

- ・その他1名 ・無回答 7名)
- ③総会を予定通りに開催するためには会報が10月1日に発行できるようにしなければならないが日程的に無理延期せざるを得ない。
- ⑦については本部への統合の方向で検討する会計委員会から会費徴収は無理で鳩の疑問

.....

VI. 第4回検討委員会（10月8日）

- (1) 出席者
中川典雄委員長 後藤武俊理事
鹿野毅支部長 光井正副支部長
軍司啓事務局長
- (2) 会議内容
①総会について
②臨時役員会について
③会報について
④本部同窓会への要望事項
⑤その他

- (3) 決定事項
①②については、東北支部の今後と言う重要課題があるので臨時役員会を開催し、総会提案事項や会報の内容等確認してもらう必要があるので会報発行・総会を延期して対応する。
③については、臨時役員会の承認を受ける。
④について
i 総会・懇親会・講演会等の実施
ii 会報の発行
iii 積立金・協力金の東北支部の趣旨を活かす使い方
第4回検討した臨時役員会への提案事項を最終確認のための第5回検討委員会開く。
この提案事項は、全役員に送り出欠等確認

VII. 第5回検討委員会（10月8日）

- (1) 出席者
中川典雄委員長 後藤武俊理事 鹿野毅支部長 光井正副支部長 軍司啓事務局長
- (2) 会議内容
①臨時役員会への最終確認
②その他

- (3) 決定事項 審議検討課題：下記の内容をまとめたので、審議願います。
(まとめ) ①東北大学教育学部同窓会への統合期日 令和5年4月1日を目途とする。
②臨時役員会の決定事項を会報及び経過説明文書で報告する。
(対象 会費納入者 対象外 会費を3年以上未納者)
③統合後の会報発行は学部HP掲載、印刷された会報を希望する方については住所氏名を本部に提出する。(希望の有無は会報発行後の希望の有無の返信で確認する。)(印刷された会報を希望される方には掛かる経費分の基金への協力要請がある。)
④令和5年3月中に統合総会と懇親会を開催する。
5 今年度の会費は徴収しない。(教育学部同窓会の会費納入卒業時に納入済み
6 会報発行・送付・返信用葉書等の経費は今年度予算で賄う(不足分については協力金で補う)積立金は教育学部の基金に寄付する。
7 本部同窓会に要望すること
i 総会・講演会・懇親会の開催と会報発行
ii 印刷物の会報を希望した方々への会報送付(経費は各自負担です)
iii 本部との連絡調整は、東北支部所属で本部同窓会の・理事・監事をされている方々がする。(阿部琢也顧問・岡崎忠顧問・関口隆顧問・中川典雄監事・鹿野毅支部長・軍司啓事務局長)光井正副支部長を理事に追加要請
8 今後の各種業務は、検討委員会を「統合推進委員会」として対応する。
9 発送名簿は、関口隆顧問が管理しているもので対応する。

VIII. 令和4年度臨時役員会（11月26日）

- (1) 出席者
野口和人研究科長 後藤武俊理事 阿部琢也顧問 鹿野毅支部長 光井正副支部長
坂野優子会計委員長 鈴木きよ子会計副委員長 軍司啓事務局長
(役員会のため返信用葉書での意思表示 全て賛成13名 一部に疑義のある方 4名
意思表示無 3名 返信無 8名)
- (2) 会議内容
① 臨時役員会への提案事項の最終確認
- (3) 決定事項 第5回の決定事項は提案通りなので、下の10を追加決定。
10 統合推進委員会の第1回委員会は、12月10日(土)午前10時～開催
会場 文系総合研究棟204教室

※統合推進委員会活動内容と令和4年度の事業報告・会計決算報告・監査報告は総会で報告します。

東北支部役員名簿

(令和3年度～令和4年総会時)

顧問	大学	野口 和人	25	高橋 公正
	28	永野 昌一	31	雪江 美久
	36	岡崎 忠	36	阿部 琢也
	37	関口 隆		
支部長	39	鹿野 毅		
副支部長	39	軍司 啓	50	吉川 邦彦
	39	光井 正		
参与	29	石森 幸子	31	栢澤 怜
"	32	佐々木亀三男		宮腰 栄一
理事	25	高橋 公正	26	三浦 貞昌
"	28	桂島 新一	28	小關 幸生
"	29	市川 宏		
"	31	飯澤 道久	33	金岡 昭房
"	34	氏家 正好	35	岡本 幸子
"	37	中川 典雄	38	文屋 優
"	39	太田 將勝	39	光井 正
"	40	吉野 信武	41	安住 裕
"	48	櫻田 博	52	別府 成裕
"	51	日下 毅	52	白澤 利広
"	54	南城 一之	57	川上 芳夫
"	H 4	吉植 庄栄	H 2	神谷 哲司
"	H 8	井本 佳宏		

事務局・各委員会

事務局		
事務局長	39	軍司 啓
事務局補佐	37	関口 隆

会則検討委員会

顧問	39	軍司 啓
委員長	31	栢澤 怜
副委員長	31	今野 健
委員	28	桂島 新一

名簿作成委員会

顧問	37	関口 隆
"	25	高橋 公正
委員長	33	金岡 昭房
副委員長	35	中川 典雄

会計委員会

顧問	39	鹿野 毅
委員長	32	坂野 優子
副委員長	39	栢澤 徳昭
"	41	鈴木きよ子

会報発行委員会

委員長	39	太田 將勝
副委員長	50	吉川 邦彦
委員	38	文屋 優

検討委員会

委員長	中川 典雄
委員	関口 隆
	鹿野 毅
	光井 正
	後藤 武俊
	栢澤 徳昭
	軍司 啓

※統合推進

委員会は
検討委員会
委員と同じ

編集後記

会報25号を発行後、委員長が家庭の都合で委員長を辞退されたため、後任の委員長を数名に就任を要請してきましたが引き受け手いない状況で令和4年度を迎えてしまいました。

そうこうしている裡に東北支部の今後について検討する委員会の設置が決まり、各委員会についても検討され、会報は事務局責任で発行す

べきものとされ事務局が担当することになりました。

本部同窓会に統合することになり会報の構成から検討し、特に統合に至るまでの詳細に重点をおき作成しました。

ご寄稿・ご協力いただいた方に感謝申し上げます。

事務局長 軍司 啓